

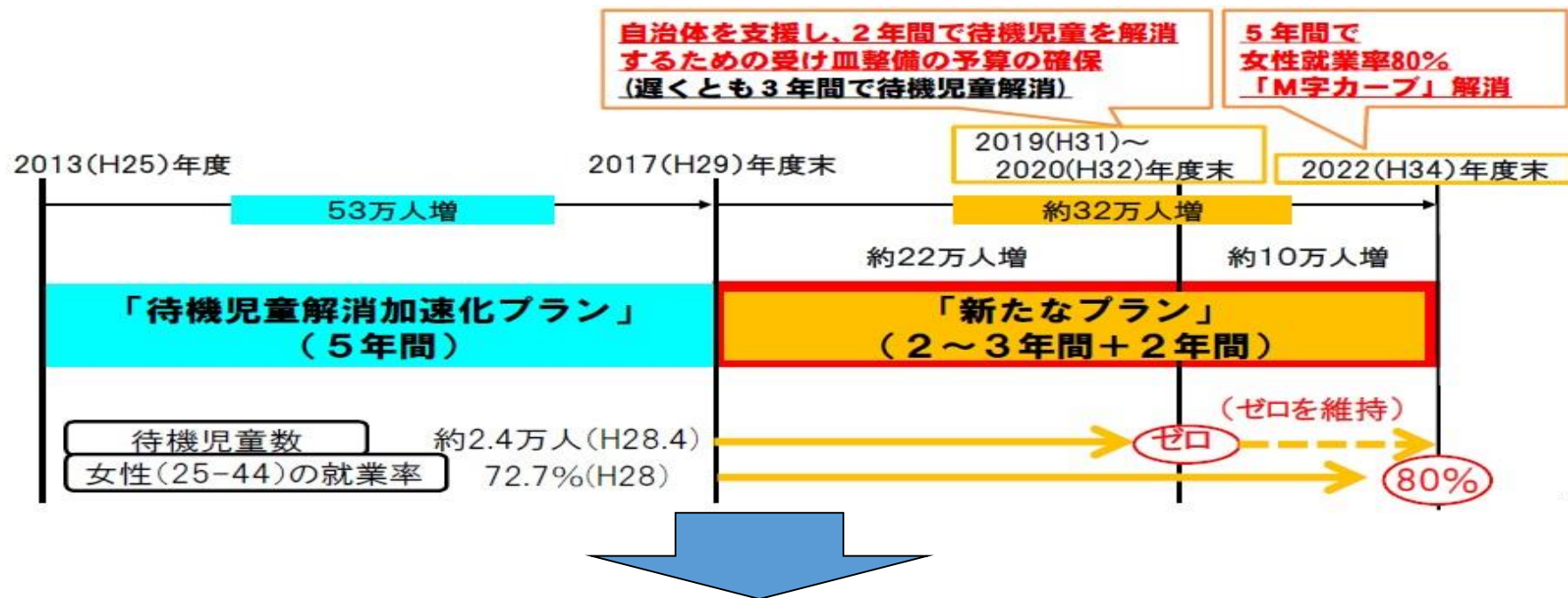
**量の見込の算出方法と
確保方策について
(教育・保育)**

**令和元年度第2回柏市子ども・子育て会議
(令和元年7月30日)**

1 量の見込み算出に関する基本的な考え方

(1) 子育て安心プラン

- 令和4年度末までに女性就業率80%に対応できる保育の受け皿を整備
- 国は、女性就業率80%時の1・2歳児の保育利用率を約60%程度と推計



【基本方針】

- 保育需要のピークは令和4年度と見込む。
- 国全体の1・2歳児保育利用率が60%となった際の柏市全体の保育利用率をピーク時の率として算出

2 柏市の保育利用率と量の見込の推計

(1) 保育利用率(推計)

区分	平成30年度	令和4年度
全国 (1・2歳児)	47.0%	60.0%

区分	平成30年度	令和4年度
柏市 (全体)	35.5%	45.3%

※R4年度柏市： $35.5\% \times 60.0\% / 47.0\% = 45.3\%$

(2) 量の見込(推計)

(単位:人, %)

区分	R2	R3	R4	R5	R6	備考
就学前児童数①	21,225	21,181	21,103	21,126	21,102	推計人数
保育利用率②	39.7	42.5	45.3	45.3	45.3	R4以降45.3% R3, R4は+2.8%
量の見込①×②	8,420	9,002	9,560	9,570	9,559	

※R2年度の量の見込:8,420人(前回報告。ニーズ調査から)

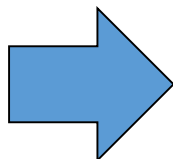
※保育利用率を、R2年度:39.7%、R4年度:45.3%とした場合、R2年度→R3年度及びR3年度→R4年度の伸びは+2.8% $((45.3\% - 39.7\%) / 2 = 2.8\%)$

3 地域別・歳児別 量の見込の算出

(1) 地域別の算出(例. 令和3年度)

ア 単年度増加数(過去5年間平均) イ R2年度→R3年度の増加人数

区分	単年度増加数	構成割合
北部	259人	42.7%
中央	211人	34.8%
南部	136人	22.5%
合計	606人	100.0%



区分	R3年度	備考
北部	249人	582人×42.7%
中央	203人	582人×34.8%
南部	130人	582人×22.5%
合計	582人	



※R2年度→R3年度の増
9,002人－8,420人＝582人

ウ 令和3年度の地域別人数

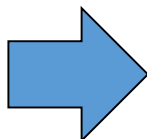
区分	R2年度①	増加数② (上記イ)	R3年度 (①+②)
北部	2,791人	249人	3,040人
中央	3,144人	203人	3,347人
南部	2,485人	130人	2,615人
合計	8,420人	582人	9,002人

(2) 歳児別の算出(例. 令和3年度)

ア 平均構成比(過去5年間)

(ア) 北部

区分	構成比
0歳児	7.6%
1・2歳児	38.9%
3歳以上児	53.5%
合計	100.0%



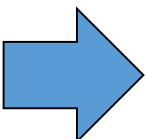
イ R3年度の歳児別人数

(ア) 北部

区分	R3年度	備考
0歳児	231人	3,040人×7.6%
1・2歳児	1,183人	3,040人×38.9%
3歳以上児	1,626人	3,040人×53.5%
合計	3,040人	

(イ) 中央

区分	構成比
0歳児	7.2%
1・2歳児	37.7%
3歳以上児	55.1%
合計	100.0%

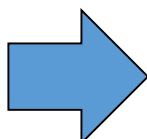


(イ) 中央

区分	R3年度	備考
0歳児	241人	3,347人×7.2%
1・2歳児	1,262人	3,347人×37.7%
3歳以上児	1,844人	3,347人×55.1%
合計	3,347人	

(ウ) 南部

区分	構成比
0歳児	6.7%
1・2歳児	35.9%
3歳以上児	57.4%
合計	100.0%



(ウ) 南部

区分	R3年度	備考
0歳児	175人	2,615人×6.7%
1・2歳児	939人	2,615人×35.9%
3歳以上児	1,501人	2,615人×57.4%
合計	2,615人	

4 1号児の量の見込

【基本的な考え方】

2号の「量の見込」の増減分を1号の量の見込に反映して算出

○量の見込(市全域)

